

総合計画審議会における指標に関する指摘事項一覧

No	区分	指摘事項
1	全般	目標値を矢印で表しているところが、曖昧な気がする。基準を明示して、それより高いか低いかを示してほしい。 どの項目にもいえることだが、目標値の設定に関して数値化出来ないものは出来ないで良いとして、進行管理はどのように行うのか。
2	人権文化	平和に関する行事参加者がどれだけ増えたのか等取組の実現度を検証するようなものにならないか。
3		「審議会の委員における女性の割合」を出すのであれば、「市の職員の係長以上の女性の割合」など市の積極的な取組を示す指標の方が良いのではないか。
4		コミュニティ通訳ボランティアの目標値が60人となっているが、現状の倍以上の目標値に対して達成の手だてはあるのか。
5	福祉保健医療	(高齢福祉)の指標で、「要介護認定を受けている高齢者の割合」は目標として適切ではない。要介護にならない高齢者を多くしていきたいのが市の目標であるので、介護予防を進めることが分かるような指標をあげる方が良い。
6		(障がい福祉)の指標で、「障がい者雇用率」は、国の法律で決めた目標であるので、市としてあげるのものではないのではないか。市の意気込みを示す指標、「障がい者の就業を支援したことによって就職できた障がい者数」などに変えた方が良い。グループホームの利用者数を目標値であげているが、在宅の障がい者に対する取組の目標値もあれば良い。
7		(保健・医療)の取組の指標のところ、「予防接種の接種率」「乳幼児検診」などを100%にして虐待の早期発見に向けて取り組むなどにしてはどうか。「生涯にわたって」と書いてあるので、乳幼児期の保健サービスのことを記載した方がよいのでは。
8	環境	ここだけではないが、率になっている場合は、どこかに分母分子を書かないと妥当かどうか分かりにくい。また、リサイクルショップなど、市のルートに載らないリサイクルがある。進捗管理の時に、留意しておかないといけない。
9	安心安全	「災害に備えている市民」では分かりにくい。23.8%は不十分で、市としてはどの程度で良いと思っているのか、その一定の水準が設定できればいい。
10		自主防災組織の結成は重要だが、そのためには、目標値として自主防災組織結成率を数字として入れた方が分かりやすい。
11		「年間の火災件数」。何を重点的に取り組むかに関連して、地域の自主消火を目標とするのであれば、そういう指標にした方がよい。
12	地域経済	定量的な数値が書きにくいのは分かるが、例えば開業率では吹田は既に高いポジションにある中で目標は「上向き」とあるが、これは今後も引き続き高いポジションを維持する事をめざすのか。上向きのレベルはどのレベルを指しているのか。